コマーシャル ライセンス簡易ガイド

コマーシャル ライセンス メディアを使用したライセンス取得済みのマイクロソフト ソフトウェア製品の再イメージング

この簡易ガイドは、ほとんどのマイクロソフト コマーシャル ライセンス プログラムに適用されます。

目次

概要 1

更新内容 1

詳細 2

メリット 2

再イメージング利用条件 2

OEM に関する情報 5

よく寄せられるご質問 5

概要

再イメージングとは、整合性のとれた 1 つの基本イメージから複数のデバイスにソフトウェアをコピーすることです。再イメージングの権利は、Enterprise Agreement、マイクロソフト製品／サービス契約（MPSA）、Open License、Open Value Agreement、Campus and School Agreement、Select Plus を通じてライセンスをご購入されたマイクロソフト コマーシャル ライセンスのお客様に提供されます。この権利に基づいて、お客様はコマーシャル ライセンス契約で提供されるメディアを使用して、OEM (Original Equipment Manufacturer) 製品またはパッケージ製品 (FPP) のライセンス取得済みデバイスを再イメージングすることができます。ただし、コマーシャル ライセンス メディアを使用して、OEM 製品またはパッケージ製品で以前にインストールしたソフトウェアを再イメージングするには、特定の条件を満たしている必要があります。

更新内容

この簡易ガイドは、2014 年 4 月に発行されたバージョンの代わりとなるものです。このガイドは、Windows Software Assurance per User のライセンス取得情報および、これまでの本簡易ガイドの中の「ボリューム ライセンス」の表記を「コマーシャル ライセンス」とし反映しています。

詳細

メリット

マイクロソフト コマーシャル ライセンス プログラムでマイクロソフト製品のライセンスを取得されたお客様は、ライセンスを取得した複数のデバイスに、コマーシャル ライセンス メディアを使用して、基本イメージが同一のソフトウェアを導入することができます。一定の利用条件を満たしている限り、それらのデバイスのライセンスを特定のコマーシャル ライセンス プログラム、OEM、小売販売形態のいずれを利用して取得したかは問われません。基本イメージを利用すると、次のことが可能になります。

- 適切なタイミングでソフトウェアを導入できます。
- 導入が容易になるため総保有コスト (TCO) を削減できます。
- 複数のデバイスでソフトウェアの標準化を図り、ライセンス認証を効率的に行うことができます。

再イメージング利用条件

再イメージング権は、利用可能なコマーシャル ライセンス プログラムご利用のお客様に提供されます。再イメージングは、利用可能なコマーシャル ライセンス プログラムに基づきライセンスを取得された製品（コマーシャル ライセンス メディアの使用を許可されたライセンス）とお客様が再イメージングしたいライセンス取得済製品が同一である場合に行うことができます。マイクロソフト ソフトウェア製品のライセンスを OEM や小売販売形態を通じて、またはマイクロソフト コマーシャル ライセンス契約以外の契約に基づいて取得したコマーシャル ライセンスのお客様は、マイクロソフト コマーシャル ライセンス メディアから作成したコピーを使用することができます。この簡易ガイドの対象となるのは、コマーシャル ライセンス メディアから作成したコピーを、同じ製品かつ同じバージョンであり、同じコンポーネントを含んでおり、かつ同じ言語である場合に限り使用できる権利です。最初にライセンスを取得したソフトウェアとは異なるバージョンまたはエディションを使用してデバイスに再イメージングする権利は、ダウングレード権および/またはライセンス移行権を通して一部のプログラムで付与される場合があります。ソフトウェアの異なるバージョンまたはエディションを使用してデバイスにイメージングする権利については、製品条項を参照してください。その他これらの要件に対する例外は、製品条項にてご確認ください。

以下に挙げた例では、利用可能の判定基準に達せず、再イメージングを利用することはできません。

- **製品が異なる場合:** たとえば、Windows Server Standard と Windows Server Essentials は異なるエディションの製品であるため、再イメージングをすることはできません。これは、Windows Pro と Windows Enterprise オペレーティング システムにも当てはまります。また、Office 365 ProPlus と Office Professional Plus も当てはまります。
- **コンポーネントが異なる場合:** Microsoft Office system スイートは同一のコンポーネント製品を含んでいる必要があります。たとえば、OEM、システム ビルダー、またはパッケージ製品でライセンスを取得した Microsoft Office Standard と、マイクロソフト コマーシャル ライセンスを通じてライセンスを取得した Microsoft Office Professional Plus は同一の製品ではありません。含まれるコンポーネントも同じではありません。したがって、この例では再イメージングを行うことはできません。

コマーシャル ライセンス メディアを使用したライセンス取得済みのマイクロソフト ソフトウェア製品の再イメージング

- **言語が異なる場合:** 英語版と Multilingual User Interface (MUI) Pack は同一言語ではありません。また、英語版とフランス語版など、言語が異なる場合もこの条件を満たしていないことになります。したがって、これらの例では再イメージングを行うことはできません。
- **バージョンが異なる場合:** Windows Server 2012 R2 と Windows Server 2012 は同一のバージョンではありません。同様に、Windows 8.1 Professional と Windows 10 Enterprise オペレーティング システムは同一のバージョンまたはエディションではありません。 したがって、これらの例では再イメージングすることはできません (後述の 「Windows デスクトップ オペレーティング システムのセクション」を参照)。

コマーシャル ライセンス: Open License および Open Value プログラムでの再イメージング

お客様は、Open License 認証番号または Microsoft Open Value や Microsoft Open Value Subscription の契約番号に基づいて、再イメージングを行いたいマイクロソフト ソフトウェアのライセンスを少なくとも 1 つ購入する必要があります。この購入は、メディアと必要なボリューム ライセンス キー (VLK) を入手するために必要です。前述した再イメージングの資格要件を満たすことを条件として、このメディアを使用してライセンスを取得した数と同数のデバイスの再イメージングを実行できます。

Windows デスクトップ オペレーティング システムの再イメージング

マイクロソフト コマーシャル ライセンス プログラムでは、Windows デスクトップ オペレーティング システムのフルバージョンに対するライセンスは提供されません。ただし、任意のコマーシャル ライセンス プログラムで Windows アップグレード ライセンスを経由して Windows ライセンスを取得したお客様は、フルバージョンのメディアを利用できます。コマーシャル ライセンスのフルバージョンのメディアを使用して再イメージングを行うには、OEM またはシステム ビルダーによって FPP 小売製品としてプレインストールされたか、またはその他の Microsoft プログラムを通じてプレインストールされた対象の Windows デスクトップ オペレーティング システムのライセンスを取得する必要があります。コマーシャル ライセンスのお客様は、PC に同梱されているものと同一の製品かつ同一のバージョンの場合のみ、お持ちのコマーシャル ライセンスのフル バージョンのメディアを使用して OEM から購入した Windows デスクトップ オペレーティング システムを再イメージングすることができます。異なるバージョンまたはエディションを使用して再イメージングを行う権利は、Windows の OEM バージョンの EULA、コマーシャル ライセンス契約、または製品条項で指定された一部のコマーシャル ライセンス プログラムによって付与される場合があります。

次の表に、OEM、FPP、およびコマーシャル ライセンスの各 Windows オペレーティング システム ライセンスの違いをまとめます。

再イメージング権 – メディアを使用した複数の PC のイメージング	
OEM	実行可能。デバイスが適切なライセンスを取得している限り、1 つの OEM リカバリ イメージをその OEM から購入した複数のデバイス上で使用できます。
FPP (小売販売)	実行不可。FPP メディアを使用できるのは、FPP ライセンスを取得したデバイス上のみです。
コマーシャル ライセンス	実行可能。コマーシャル ライセンス メディアを使用して、適切なライセンスを取得した任意のデバイスに再イメージングできます。

コマーシャル ライセンス メディアを使用したライセンス取得済みのマイクロソフト ソフトウェア製品の再イメージング

次に、Windows デスクトップ オペレーティング システムの再イメージング権について説明します。

- **コマーシャル ライセンス メディアを使用した再イメージング。**再イメージング対象のすべてのデバイスが再イメージングする Windows のエディションとバージョンのライセンスを取得している場合、コマーシャル ライセンスの Windows デスクトップ オペレーティング システムのメディアを使用して再イメージングを行うことができます (注: 再イメージング対象の各デバイスは、再イメージングするエディションとバージョンの適切なライセンスを取得している限り、コマーシャル ライセンスの対象である必要はありません)。
  - **ダウングレード権: コマーシャル ライセンス メディアを使用して OEM ライセンス取得済みデバイスの再イメージング。**Windows デスクトップ オペレーティング システムの Pro バージョンを使用してイメージングされた OEM デバイスには、制限付きのダウングレード権が含まれている場合があります。たとえば、OEM から Windows 10 Pro が搭載された PC を購入したお客様は、Windows 7 Professional にダウングレードする権利を取得します。コマーシャル ライセンスのお客様がこれらのダウングレード権を利用する場合は、コマーシャル ライセンス メディアを使用してその権利を利用できます。この例では、コマーシャル ライセンスの Windows 7 Professional を使用して、Windows 7 Professional のライセンス (Windows 7 Professional の OEM ライセンス、または Windows 10 Pro OEM EULA で付与される OEM ダウングレード権のどちらか) を 取得したお客様の任意のデバイスに再イメージングできます。
  - **ダウングレード権: コマーシャル ライセンス メディアを使用してコマーシャル ライセンスでライセンス取得済みデバイスの再イメージング。**コマーシャル ライセンスで Windows Pro または Enterprise アップグレード ライセンスを取得したデバイスには、完全なダウングレード権が付与されます。コマーシャル ライセンスのお客様がこれらのダウングレード権を利用する場合は、コマーシャル ライセンス メディアを使用してその権利を利用できます。Windows の Pro エディションと Enterprise エディションのダウングレード権について説明した表については、Windows 10 の ライセンス リファレンス ガイド をご参照ください。
- **コマーシャル ライセンス メディアで OEM またはサード パーティを使用したデバイスの再イメージング。**多くの組織は、異なる OEM から購入した複数のデバイスに基本イメージを展開します。OEM メディア (カスタム OEM イメージを含む) を使用した再イメージングは、最初にそのメディアを使用してイメージングされていたデバイスに対してのみ行うことができます。したがって、異なる OEM から購入した複数のデバイスに基本イメージを展開する場合、OEM イメージは使用できません。このような場合、デバイスが対象オペレーティング システムのライセンスを取得していれば、OEM (またはその他のサード パーティ) と契約して、お客様の代わりにコマーシャル ライセンスを通じてライセンスを取得し、購入した Windows デスクトップ オペレーティング システム メディアを使用してデバイスに再イメージングできます。詳細については、製品ライセンスの検索サイト (英語) ([Licensing Documents Search] タブの [Document Type] の [Windows License Verification]) を参照してください。お客様が OEM と契約し、コマーシャル ライセンス メディアを代わりにインストールしてもらう場合は、(元の OEM メディアがインストールされたデバイスをお客様が所有していなかった場合でも) その OEM から購入したデバイスには元の OEM ライセンスが残り、OEM リカバリ メディアが同梱されます。お客様は、このように複数の OEM および/またはサード パーティと契約して、コマーシャル ライセンスの再イメージ権を利用できます。これにより、お客様は、標準の Windows デスクトップ オペレーティング システム イメージを作成し、複数のデバイス タイプに展開できます。

コマーシャル ライセンス メディアを使用したライセンス取得済みのマイクロソフト ソフトウェア製品の再イメージング

注：コマーシャル ライセンス契約に基づいて取得した製品群のメディア、およびコマーシャル ライセンス外のソースを通してライセンスを取得した製品群のメディアに含まれているすべてのマイクロソフト ソフトウェアは、利用条件に従っている限りこれらの再イメージング権の対象となります

OEM に関する情報

再イメージングとは、1 つの基本イメージから複数のデバイスにソフトウェアをコピーすることです。組織は、次の方法により、OEM メディアまたは OEM カスタム イメージを使用して自社のシステムを回復することができます。つまり、OEM から提供されたリカバリ メディアを使用してデバイスを個別に回復することができます。OEM リカバリ メディアは、(1) システムに最初にプリインストールされていた製品のバージョンと一致する必要があり、(2) それが同梱されていたデバイスにのみイメージングを実行でき、および (3) イメージをデバイスに回復する前に変更することはできません。

- **OEM メディアを使用した再イメージング:** OEM メディア (カスタム OEM イメージを含む) を使用した再イメージングは、最初にそのメディアでイメージングされていたデバイスに対してのみ行うことができます。
- **ダウングレードおよび再イメージング:** Windows の OEM バージョンの EULA には、ソフトウェアの旧バージョンを使用する権利が記載されている場合があります。たとえば、Windows 10 Pro ソフトウェアの代わりに、旧バージョンの Windows 8.1 Pro または Windows 7 Pro のいずれかを使用できます。旧バージョンに異なるコンポーネントが含まれている場合、それらのコンポーネントの利用には、旧バージョンの契約に記載されている対応するコンポーネントに関する条件が適用されます。メーカー、インストール業者、および Microsoft のいずれも、お客様に旧バージョンを提供する義務を負いません。お客様が旧バージョンを別途取得する必要があります。注: ソフトウェアの旧バージョンを使用する権利は、その他のすべての再イメージング条件に従うものとします。

よく寄せられるご質問

1. **マイクロソフト コマーシャル ライセンス メディアとは何ですか。**

   マイクロソフト コマーシャル ライセンス メディアとは、マイクロソフトの ボリューム ライセンス サービス センター ポータル (VLSC) から入手するマイクロソフト コマーシャル ライセンス製品の Web ベースのダウンロード、またはマイクロソフト コマーシャル ライセンス CD/DVD ディスク キットを意味します。

2. **小売販売形態を通じてライセンスを取得したマイクロソフト ソフトウェア製品を、コマーシャル ライセンス メディアを使用して再イメージングした場合、サポートや保証はどうなりますか。**

   マイクロソフトのコマーシャル ライセンス プログラムは、マイクロソフトおよび販売パートナー会社から提供されるサポートとは別のものです。再イメージングを行う前に OEM 製品の契約上の関連情報およびサポート関連情報を調査し、それに従って調整を行う必要があります。マイクロソフト コマーシャル ライセンス メディアを使用して再イメージングを行った結果として、マイクロソフトのサポートの対象となるわけではありません。また、現在受けている保証およびサポートに対する影響については、当該保証およびサポート提供企業にご相談ください。

3. **マイクロソフト コマーシャル ライセンスを通じてライセンスを取得した Microsoft Office と、OEM やパッケージ製品**

コマーシャル ライセンス メディアを使用したライセンス取得済みのマイクロソフト ソフトウェア製品の再イメージング

(FPP) などの販売形態を通じてライセンスを取得した Microsoft Office が別の製品として扱われるのはなぜですか。

マイクロソフト コマーシャル ライセンス プログラムを通じてライセンスを取得した Microsoft Office 製品はユーザー インターフェイスの異なるエンタープライズ製品であり、プロダクト キーの入力および IT 管理ツールが省略されています。たとえば、Microsoft Office Professional Plus 2016 は企業向けに設計され、コマーシャル ライセンスを通じてライセンスを取得するものであり、IT 管理者は、製品の展開、管理、およびカスタマイズを行う際にツールを使用することができます。またユーザーには、OEM やパッケージ製品では提供されない追加の機能が提供されます。

4. **マイクロソフト ソフトウェア アシュアランスまたは Windows Enterprise アップグレード ライセンスの対象ではない Windows Pro のライセンスを取得した OEM PC に、Windows Enterprise コマーシャル ライセンス メディアを使用して再イメージングを行うことができるのはどのような場合ですか。**

Windows Enterprise を使用して PC の再イメージングを行うには、次のいずれかが必要です。

a) コマーシャル ライセンスを通じて PC に Windows Enterprise アップグレードのライセンスを取得している。

b) PC に Windows ソフトウェア アシュアランスのライセンスを取得している。

c) PC のプライマリ ユーザーが Windows Software Assurance per User のライセンスを取得している。

5. **ユーザー ベース モデルのライセンスで Windows を使用しているユーザーが存在し、その PC が Windows Enterprise を使用して再イメージングされています。Windows のユーザー ベース サブスクリプションの有効期限が切れる、またはユーザーが退職した場合はどうなりますか。**

従業員が退職し、Windows Software Assurance per User ライセンスの対象である別の従業員にそのデバイスが譲渡され、その従業員または同様のライセンスの対象である従業員のみがそのデバイスを使用する場合は、ソフトウェアを削除する必要はありません。ただし、ライセンス対象ではないユーザーがデバイスを使用する場合は、Windows Software Assurance per Device ライセンスを取得する必要があります。Windows Software Assurance per User の有効期限が切れた場合は、最初にライセンスを取得したオペレーティング システムに PC を戻す必要があります。

6. **ソフトウェア アシュアランスを所有していない場合、再イメージングを行う権利はありますか。**

はい。すべてのマイクロソフト コマーシャル ライセンスのお客様は、ソフトウェア アシュアランスを所有しているかどうかに関係なく、再イメージングの資格要件を満たしていれば、再イメージングを行うことができます。

7. **製品の再イメージングに必要な VLK を取得するにはどうすればよいですか。**

コマーシャル ライセンスのお客様には、ボリューム ライセンス サービス センターを介して必要な VLK が自動的に割り当てられます。割り当てられていない場合、ライセンス認証専用窓口を通じてキーを要求することができます。Open License または Open Value のお客様の場合、製品メディアにアクセスしてキーを受け取るには、再イメージングする製品を少なく

とも 1 ライセンス購入する必要があります。

8. **キー マネージメント サービス (KMS) ではなくマルチプル アクティベーション キー (MAK) を使用して OEM の Windows Pro PC を再イメージングする必要があります。必要な場合、追加のライセンス認証キーを取得するにはどうすればよいですか。**

   まず、VLSC のプロダクト キー ページ、または Volume Activation Management Tool (VAMT) を使用して、Windows MAK に関連付けられているライセンス認証の上限数を確認します。それ以上のライセンス認証が必要な場合は、ライセンス認証窓口に連絡して理由を伝えるか、makadd@microsoft.com 宛てに電子メールでご連絡ください。このとき、お客様の契約情報、お客様の名称および連絡先担当者情報、追加のライセンス認証が必要な業務上の正当な理由 (再イメージングなど)、プロダクト キー、およびキーの追加を希望する追加のライセンス認証の数を同時に伝える必要があります。ボリューム アクティベーションの詳細については、http://www.microsoft.com/ja-jp/licensing/products/products.aspx を参照してください。

9. **ライセンスを取得した製品の以前のバージョンを再イメージングする権利はありますか。**

   再イメージングするソフトウェアのライセンス条項で、ライセンスを取得したバージョンの代わりに以前のバージョンを使用することが許可されている場合は、以前のバージョンを使用して再イメージングすることができます。この場合でも、先に説明した、製品とバージョン、コンポーネント、および言語に関する利用条件が適用されます。

10. **32 ビットの OEM の Windows Pro PC を所有しています。64 ビットのボリューム ライセンス メディアを使用して、これを 64 ビットの Windows Pro に再イメージングすることはできますか。**

    はい。同じ製品かつ同じバージョンであり、同じコンポーネントを含んでおり、かつ同じ言語である場合は、32 ビットおよび 64 ビットのプラットーフォーム間で再イメージングを行うことができます。

© 2017 Microsoft Corporation. All rights reserved.

本資料に記載された内容は情報提供のみを目的としており、明示または黙示に関わらず、これらの情報についてマイクロソフトはいかなる責任も負わないものとします。これは、ライセンスを取得した製品の許可された使用について説明したものであり、お客様との契約ではありません。ボリューム ライセンス契約に基づいてライセンス許諾された製品の使用は、契約の条項および条件に従う必要があります。この情報と契約の内容に矛盾がある場合は、契約の条項と条件が優先されます。マイクロソフト代理店を通じて取得されるライセンス価格はマイクロソフト代理店によって決められるものです。